

【科目名】	心理学的支援法		【担当教員】	大矢 薫
【授業区分】	専門分野(公認心理師養成科目)	【授業コード】	(メールアドレス)	
【開講時期】	後期	【選択必修】	必修	ohya@nur05.onmicrosoft.com
【単位数】	1	【コマ数】	15コマ	(オフィスアワー) 12:40~13:30(月~金、火除く)
【注意事項】				
(受講者に関わる情報・履修条件)				
<p>「臨床心理学概論」など心理学の科目を履修していると、本講義の内容の理解が深まります。 この科目は実務経験者対応科目である。</p>				
(受講のルールに関わる情報・予備知識)				
<p>毎回、プリントを配布します。 講義を受けながら、もしくは講義後に空欄箇所を埋め、講義後はそのプリントを使って、一通り復習してください。 講義中に関連する文献を紹介するので、購入もしくは図書館で借りるなどして読んでください。 試験、小テストなどは原則として返却しません。 小テストのフィードバック・解説を他に支障のない範囲で行います。</p>				
【講義概要】				
(目的)				
<p>この科目は公認心理師養成のための必修科目である。以下の ~ を中心に、公認心理師として必要なトピックを理解する。 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界、訪問による支援や地域支援の意義 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、プライバシーへの配慮 心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援、心の健康教育 当該科目と学位授与方針等との関連性；A-1,2、R-1,2,3</p>				
(方法)				
<p>毎回、プリントや資料を配布する。 心理学的支援法の各トピックについて、具体例を挙げながら解説する。</p>				
【一般教育目標(GI0)】				
<p>心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じて適切な支援方法を選択・調整することができる。 良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身につける。 心理に関する支援を要する者等のプライバシーに配慮できる。</p>				
【行動目標(SB0)】				
<p>代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義及び適応について概説できる。 訪問による支援や地域支援の意義について概説できる。 心理療法やカウンセリングの適用には限界があることを説明できる。</p>				
【教科書・リザーブドブック】				
毎回、プリントや資料を配布する。				
【参考書】				
<p>一般財団法人日本心理研修センター 監修 『公認心理師現任者講習会テキスト』 金剛出版(3,800円+税) 乾吉佑・氏原寛・亀口憲治・成田善弘・東山紘久・山中康裕 編 『心理療法ハンドブック』 創元社(3,500円+税)</p>				
【評価に関わる情報】				
(評価の基準・方法)				
<p>成績評価基準は、本学学則規程のGPA制度に従う。 小テストと定期試験を実施する。 出席点は評価に含みません。</p>				

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		40	60						100
評価指標	取り込む力・知識	30	30						60
	思考・推論・創造の力	10	30						40
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1-2	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界 キャリアカウンセリング	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
3-4	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界 集団療法	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
5-6	訪問による支援や地域支援の意義	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
7-8	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
9-10	プライバシーへの配慮	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
11-12	心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
13-14	心の健康教育	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
15	まとめ	講義	今までの講義プリント、資料の復習	120分